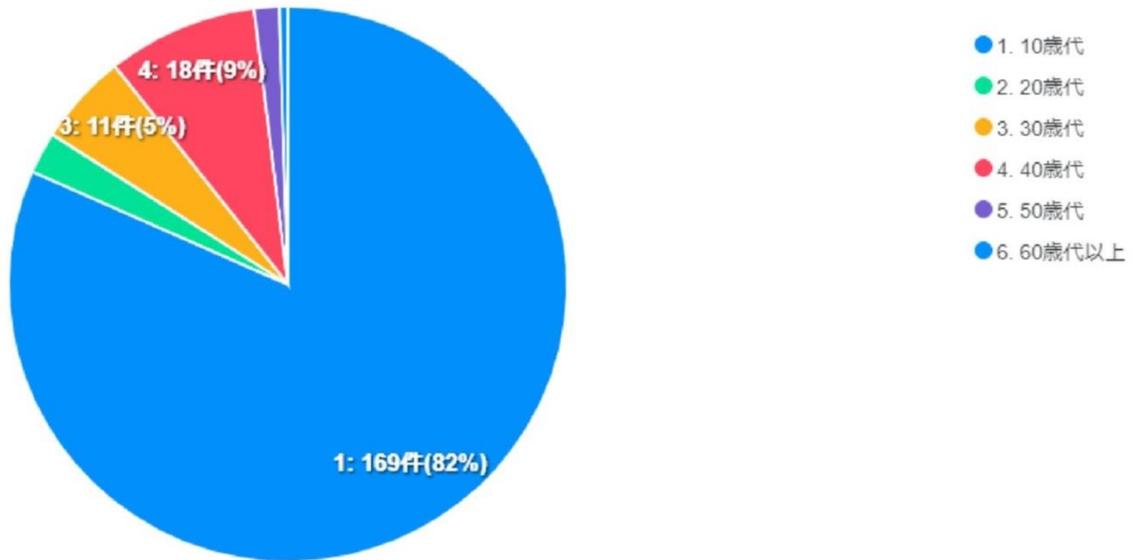


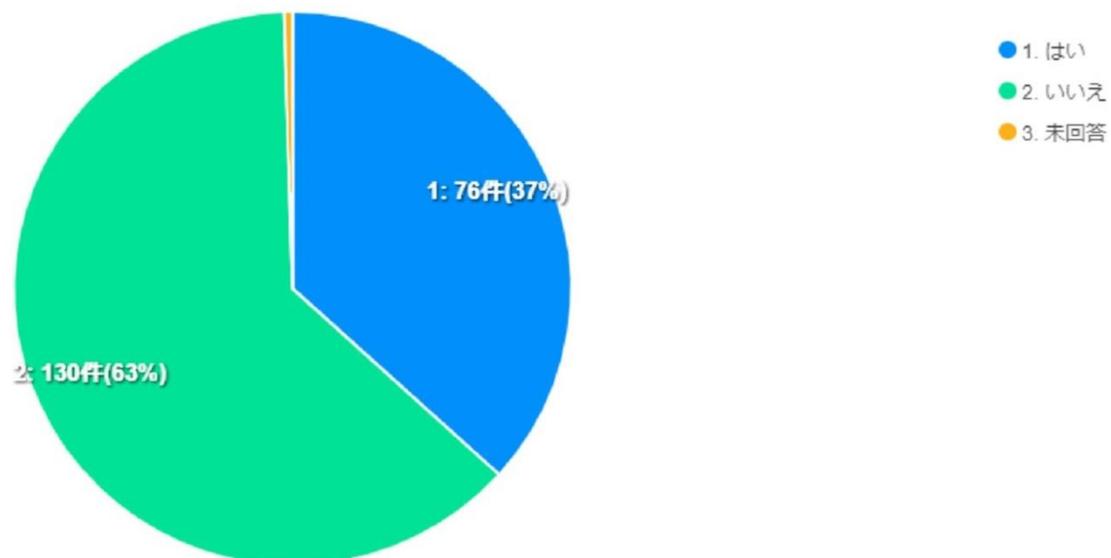
アンケート結果について

Q1. 年齢についてお答えください。



10歳代 169件、40歳代 18件、30歳代 11件と小中学校への配布により、10歳代から82%の回答をいただきました。

Q2. 生理用品が必要な時になくて困った経験はありますか。



37%の方が「生理用品が必要な時になくて困った経験がある」と回答しています。

Q3. Q2で「はい」と回答した方（参考：76件）に伺います。どのような理由から生理用品がなかったのか、該当するものを選択してください。（複数選択可）

●たまたま持ち合わせていなかった	74件
●その他（急に生理になった、不定期だった）	4件
●家族に言い出せず、買ってもらえなかった	2件
●経済的に困窮し、購入できなかった	1件

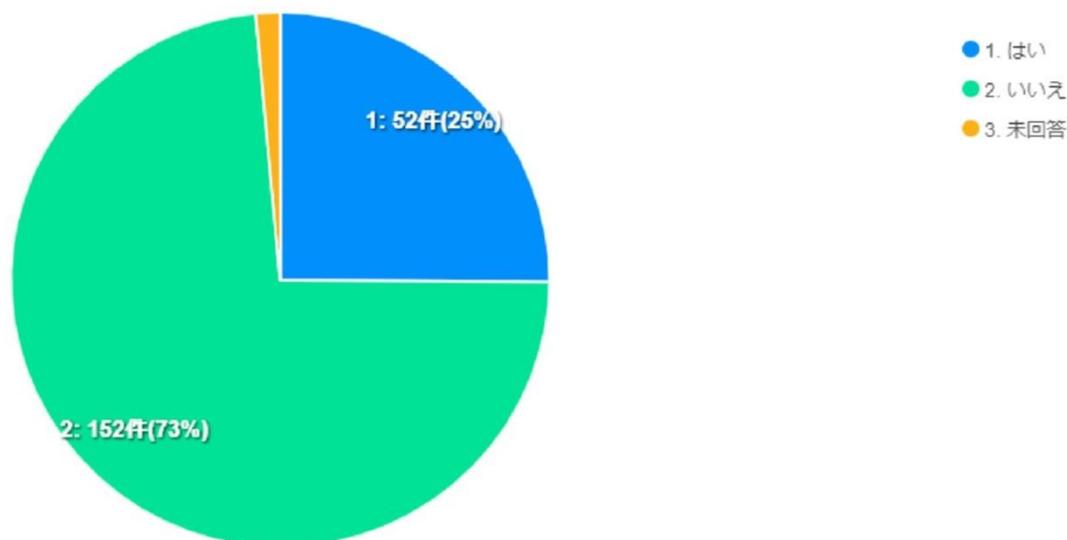
鳥羽市においても、生理の貧困の実態が少なからずあると言えます。

Q4. Q2で「はい」と回答した方（参考：76件）に伺います。生理用品が必要な時になかったとき、どのように対応しましたか。（複数選択可）

●友達に相談した	46件
●自力で何とかした	26件
●家族に相談した	20件
●先生に相談した	19件
●職場の同僚等に相談した	4件
●その他（なし）	2件

自力で対応した回答も多く、誰かに相談しにくい側面があると推測できます。

Q5. 生理用品購入には費用負担が生じますが、そのことについて不平等さを感じますか。



25%の方が「生理用品の購入に係る費用負担について不平等」と感じています。

Q6. 社会問題化している【生理の貧困】についてご意見等がございましたら自由に記入してください。

- このまま格差が進めば子ども達の未来が心配。
 - 生理用品が軽減率対象外であること
 - 無料で生理用品を配布できるようにする。
 - 〇〇小学校は女子トイレに常備品として生理用品を置いてくれているそうです。そうしてもらえると突然生理になった時困らないと思います。
 - 個人的に困ったことはないですが、子どもが困っていると感じてほしくないと思います。
 - わすれた時に学校があればたすかる
 - 生理の貧困を含めて悩んでいる人が気軽に相談できる方法があればと思います。
- 又、男性も生理の事をもっと理解できるように子供の頃から話を聞く機会があったらと思います。
- 生理用品が設備されているトイレが増えていくとみんな助かるとおもう。でも、お店側や市が費用を負担したりすると、またそれも負担が大きくなっていくから、判断が難しい。

Q7. 次の相談窓口はご存知ですか？

●知らなかった	168 件
●女性相談	30 件
●人権擁護委員による相談	22 件
●未回答	6 件

市相談窓口の認知度が低いため、改めて広報やホームページでの周知を行います。